



令和7年
(2025年)
6月号
Vol.66

もちのき

(社会福祉法人愛の森広報紙)



[発行]社会福祉法人愛の森(厚木市森の里青山14-2(Tel:046(248)5211)) [編集発行責任者] 國分 隆之

専門職の知見・技術に改めて感銘し、「伝える力」の重要性を再認識しました

いつまでも私事の入院ネタで巻頭言を占拠してはいけませんが、今回は最後ということであ…。

「骨折で入院」と前々回書きましたが、正確には「腰椎横突起骨折」という傷病名でした。背骨本体ではなく、背骨から左右に出ている小さな突起が、折れる、あるいは、欠けたものです。

ごくごく微小な骨折なので、手術の対象にもなりませんし、コルセットやギプスで固定のしようもなく、いわゆる保存療法というのでしょうか、鎮痛剤などを飲みながらひたすら回復を待つ、という治療でした。一方、微小な骨折ではありますが、体を少し捻っただけで、向きによっては、心ならずも絶叫するほど痛いですし、車いすからベッドに移るのに何度もやり直して30分以上かかったりすることもある、という、それなりに難儀な日々でした。

入院翌日から理学療法士の先生がいらっしゃって、毎日がリハビリの日々。そのなかで実感・体感したのが、専門職としての圧倒的な知識と技術です。職業柄、色々な医療福祉専門職の方々とお話をすることがありますが、一寸動くとか激痛という状況に対し、1ミリ単位での体の向きや動きを指示され、痛くないポジションを見つけてくださったり、回復途上で体の状況が刻々と変わる中での動きやすい方法などをベッド・トイレなどの場面ごとに適切に指示してくださり、そして質問すればするほど湯水のごとく知恵と技を出してくださるのを実体験しました。

我が学園も、様々な専門職の先生方にお世話になっています。いずれも知識・経験・技術の素晴らしい方々です。が、常勤ではありませんので、定期的な観察やカンファレンスにいらっしゃった際に、如何に利用者さんの普段の状況を正確にお伝えし、先生方の知識・経験・技術の「引出し」に入っているものを出していただき易くするか、が重要なことだと思います。

日々利用者さんの様子を見守り、把握し、記録をつけている我が支援職員の「伝える力」も、支援力とセットで意識して磨いてもらえれば、と改めて思った次第です。 [國分 隆之]

[激励!] 「ななさわ緑のまつり」に出店する職員を激励してきました：5月18日(日)

毎年、木々の新緑が気持ちの良いこの時期、「ななさわ緑のまつり」が開催されます。今年も愛の森学園は利用者さんの手作り作品の販売のため、出店しました。

店番を行う職員の激励・応援のため、利用者さん数名がお祭り会場に出向き、「しっかり売ってね!」と励ましてくださいました。そして、お祭りならではの「焼きそば」、「かき氷」を堪能し、新緑鮮やかな七沢森林公園での週末のひとときを楽しみました! [担当:萩原 康弘、工藤 康裕]



「衣」における「意思決定支援」を！

2回目の学園內衣類販売：5月26日(月)

「衣食住」という言葉がありますが、「意思決定支援」が日常の支援における重要事項であるなか、「食」に比べて一寸これまで弱かったかな、というのが学園における「衣」に関する取組み。近隣民間事業者さんのご協力により、昨年秋にその第1回目を行った3階サロンでの「衣類販売」、この度、2回目の取組みを行いました。

午前10時の「開店」当初は、職員配置の関係で、ガラガラ😞!「店員」として、最初はどうなることかと思いましたが👉、時間とともに人も集まり、賑わってまいりました😊。「色」や「柄」などの好みがはっきりしている方、衣類にこだわりはないけど売り場をそぞろ歩きしつつ楽しみながら決めていく方、と「ショッピング」の仕方には、利用者さんの個性が反映されます。

中には大きなぬいぐるみを購入している利用者さんも。「本当に必要な😞?」と思わず微笑んでしまいつつ、「ま、自分も衝動買いするよね!」と妙に納得した支援員。

ガイドヘルパー等による外出時のショッピングとあわせて、衣類選択の幅を広げていただければ、との思いで始まった企画ですが、外出する機会が少なめの利用者さんにも楽しんでもらえたようで、やってみてよかった、と改めて思った担当でした。

次回は冬に向けての衣替えの時期を目指して実施の予定です。

[北田 佳奈子]



「旅行」!

「リニア」と「ほうとう」で、初夏の山梨を堪能しました!：5月15日(木)

入所・通所・GHにかかわらず、多くの利用者さんが楽しみにされている、毎年の日帰り旅行。コロナ禍では延期や中止もありましたが、ここ2年ほどは概ね順調に実施できています。

全利用者さんを6グループに分け、ひと月に1組ずつで行っている旅行は、今年も5月に無事キックオフ。入所利用者さん10名、保護者様4名、職員4名の総勢18名から成る初回グループの行先は、リニア見学センター🇯🇵@山梨🍇、です。

絶好の旅行日和🌤に恵まれた当日、談合坂サービスエリアを経て、リニア見学センターへ。

丁度この日はリニアの試験走行が予定されており、添乗員の方からは「1時間に1〜2回観られれば良いですね!」とバスのなかで伺っていましたが、なんとなんと、滞在中、5回程もリニアの走行に巡り合うことができました!

目の前を通り過ぎるリニアモーターカーは物凄い速さと迫力です。ビクビクして、一步引いてしまう利用者さんもおられたほど! 皆さん、一様に首を左右に振りながら(動画を掲載できず残念!)、時速500キロの営業運転を目指すという、リニアのスピード感を体感しました!

お昼は大月市内にある「濱野屋」さんで、釜めしとミニほうとうに舌鼓。その後は「勝沼ぶどうの丘」にてお土産を買い、景色を眺め、アイスクリームを堪能したり、とゆったりタイム。

ゆったりしすぎて帰園が少し遅くなりましたが👉、思い出深い1日となりました。[島岡 佑樹]



[研修！] 入職1～2年目くらいの職員で、グループワークを行いました：5月22日(木)

愛の森は小さな法人ですが、月に1度、学園内研修を企画し、ときどきに必要なテーマを吟味し、「講義」「グループワーク」「実習」等の各種方法のなかから職員が興味を持ち、浸透しやすい方法を模索したいと考えています。たまに「ネタ切れ」や「外部講師の人脈切れ」もありますが、なんとか月1度のスタイルを続けるつもりです。

今月は、施設長自らが講師兼コーディネータとなって、ここ1～2年に学園支援員となった職員とグループワークを行いました。テーマは、トレンドでもある「意思決定支援」、「当事者目線に立った支援」。



まずは、①わかりやすい情報提供に基づく自己決定の尊重、②挫折や失敗も含めた不合理と思われる決定も含めた尊重、③意思確認が困難な方への推定、を具体例とともにお話ししました。

次いで、グループワークに移ります。適切な支援は、利用者さんの「できないこと」に捉われるのではなく「できること(強み)」を知り、そこから選択肢を拡げていくことが大切である、等の観点から、職員が日々接している利用者さんを例に採り上げさせていただきつつ「いいところ」「上手にできること」「好きなこと」などを皆で書き出して、意見交換を行いました。

講師である施設長が予想していた以上に、参加した職員が利用者さんの「強み」を多く把握されており、その着眼点の質の高さを嬉しく思い、また、大きな期待を持つことができました。

「施設」という空間は、必ずしも利用者さんが好んで住まわれている訳ではない、という現実があるなか、利用者さんへの意思決定支援に最大限取り組む、という意識を職員皆で持ち続け、学園の支援全体としての「強み」にしていければ、改めて思った次第です。 [遠藤 岳洋]

[スクープ！] 執行部交代か! 「ひみつけっしゃあいのもりのうえん」：5月27日(火)

数年前まで、「もちのき」の前身「お知らせ」の紙面をよく賑わせていた「ひみつけっしゃあいのもりのうえん」。本紙特別取材班が、久々にその近況をスクープしましたので速報します。

情報筋👁️によれば、執行部を務めていた「のうえん部長」が「農福連携事業」で忙しくなっており、一方、今期から若手中心で積極的な再展開を図ろうという声が上がってきたとのこと。

新しい執行部は若手を含む集団指導体制??となり、学生時代に農業を学んだ職員、農作業が大好きな職員、ベテランの相談職員、にそれぞれ酷似した者👑?などが、園庭内での更なる農地拡大を企み、着々と利用者さんを組織化している模様。

特に月間スケジュール等に事前告知されることはなく、「晴れた日」に突如わらわらと園庭に出現したりするので、当局👮も実態把握には苦勞しているようです。

取材班では、情報網を駆使してその動静をウォッチし、「扱う植物・野菜の種類、農園拡大や世界制覇に向けた企み(笑)」などを続報する予定です。 [國分 隆之]



[今月の農福!]**里芋と夏野菜の苗を植え付けました! : 5月15日(木)**

先月に続いての農福連携事業のご報告。今回は休耕していた畑の草取りなどを行いました、今回はいよいよ里芋や夏野菜の植付けです。まずは本日の作業内容の説明を受けます。

そして、肥料を施し、皆で手分けして里芋、ナス・トマト・ピーマンなどの夏野菜を植え付ける、というのがこの日の流れでしたが、利用者さんの様子は実に様々。

日ごろからご家庭でお母様の農作業をお手伝いをしておられる利用者さんは、やはりとても慣れた手つきでお上手。去年から参加の利用者さんは徐々に作業に馴染んできている様子で見えて安心😊。そして、今年から参加の利用者さんは、地域や企業からの参加メンバーからの助言を聞きながら、やはり上手に種芋や野菜苗の植付けを行うことができました。

これから夏に向け、野菜の苗はぐんぐんと育っていきます。次回は夏野菜収穫の報告ができれば、と思います! お楽しみに!

[遠藤 岳洋]

**[トライアル!]****身体を動かす新しい取組み = ボクササイズ♪の試行! : 5月26日(月)**

複数のスキルをお持ちの方々は世の中多いですが、今回は、社会福祉士であり、かつ、ボクシングのプロテスト合格を目指している、という素晴らしい方との出会いについてのご報告。

学園には色々な日課がありますが、例えばコロナ禍での運動不足解消のための「ジムの日」創設など、利用者さんに体を動かしていただく機会は極力つくっていきたいと考えています。

そんななか、学園のHPをご覧になって、「ボクササイズをやってみませんか」とお声をかけてくださる方が…。早速、我が学園としては初の「ボクササイズ」トライアルと相成りました。

まずは、ストレッチでしっかり体をほぐします。そして、構え・ジャブ・ストレートなどの基本動作へ。講師によるお手本のポーズを見よう見まねでやってみる利用者さんたち。楽しそう!

グローブを装着しての「ミット打ち」では、「構え」も「パンチ」もあまりに「様」になっている利用者さんが何人もおられ、これには、講師の方も、横で見ていた職員もびっくり!

2階サロンに設定した即席のボクササイズ会場は、驚きの声と笑い声で溢れました。

講師の先生も今回のトライアルには手ごたえを感じてくださったようで、エアロビに続く外部講師による運動プログラムとして、利用者さんの健康維持とストレス発散!🌊😄のため、定期的な来園をお願いすることとなりました。よろしくお願い申し上げます! [遠藤 岳洋]

五月の「日誌」も、掲載スペースがなくなってしまうので、追ってエロにのみ掲載します。

